

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	上尾市立小敷谷保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	島田恭子	定員(利用人数)：	90 名
所在地：	〒 362-0064 埼玉県上尾市大字小敷谷723-1	TEL	048-726-2698

③評価実施期間

平成27年 6月 1日(契約日)～平成28年 2月29日(評価結果確定日)

④総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>○戸外でのびのびと楽しく遊ぶことができる環境に恵まれており、地域資源を活かした保育が行われている</p> <p>保育所の周辺の自然環境に恵まれ、子どもたちは園舎周辺の公園に出かける機会がたくさんある。アスレチックで遊べる公園、ドングリや椎の実を拾ったり、ブドウ畑や梨畑の横を通り、少し遠出をした牧場では牛に出会うこともできるなど、自然とかわりながら保育活動を楽しむ機会に恵まれている。裸足で過ごすことを方針としているが、体調などへの配慮もしながら強制はしないようにしており、子どもたちは園庭に出ると自然と靴を脱ぎ泥の感触を楽しむなど、のびのびと遊ぶ姿が日常の保育として保障されている。</p> <p>○園庭の畑を活用して、野菜を栽培してみんなで食べたりする活動がある</p> <p>園庭にはミカンやビワなどの実のなる木があり、収穫の季節になるとみんなで取って食べたりしている。また、園庭の隅に畑を作り、ナスやトマト、キュウリ、大根、落花生、芽キャベツなどのたくさんの種類の野菜を栽培し、クラス毎に収穫して食べたり、豊作の時には家庭に持ち帰り、家族で食べるなどの経験を楽しむこともでき、子どもたちの食への関心や興味を育む取り組みとなっている。</p> <p>○子どもたちの安全への配慮をマップにして整理し、保護者に保育活動を丁寧に伝えている</p> <p>保育所内でのヒヤリハット記録を整理し、ヒヤリハットマップに取りまとめ、安全への配慮事項を盛り込んで掲示して職員間での安全への意識向上、保護者の理解と協力などに活かしている。また、さんぽマップを作成して掲示し、保育所周辺の公園や社会資源の位置を明記し保護者が利用する際にも活用できる内容としており、子どもたちの活動が分かるように努めている。</p>
--

◇特にコメントを要する点

○子どもたちの安心・安全への取り組みを更に進め、保護者との意識共有にも活かされたい  
 子どもたちの安心・安全に向けてチェックリストを用いた確認を行い、毎年ヒヤリハットマップを作成して職員会議で周知・共有し、保育活動の際の配慮に活かしている。保育所内で安全などに関して気づいたことを更に収集・把握して、ヒヤリハットマップを視覚的により分かりやすくするなどの工夫をして、どこがどう危ないかを明確にしどのような配慮が必要かに気づきやすくするなどの対応を検討され、保護者にも周知して安全への配慮の意識を広げ、更に子どもたちの安全を向上されたい。また、さんぽマップを活かして散歩のルートを示し、ルート沿いで注意すべき事項を追記して保護者が子どもと歩く際にも活用できるものとする事で保護者の安全への意識啓発につながる気づきに活かされたい。

○保育の取り組みをわかりやすく更に丁寧に伝える工夫なども期待したい  
 毎日の保育活動の様子はその日の様子という形で掲示して保護者に伝えられており、フォトフレームを用いて食事内容を伝えるなどの取り組みを行い、保護者に保育所での取り組みを周知している。保育活動の中での具体的なエピソードを更に丁寧に記録して、保護者が子どもの活動の様子を想像しやすくわかりやすく伝える工夫をするなどの検討も期待したい。また、保護者の動線が園庭から保育室につながっており、給食の展示や各種のお知らせ、おさんぽマップなどの掲示が確認できづらい配置となっている。保護者動線への配慮や掲示内容の工夫をすることで、関心を持ってもらう工夫もされたい。

○保育所での様々な配慮や工夫などを、考え方とともに伝え、更なる保護者の理解と協力に活かされたい

朝礼を通して職員間で子どもや保護者に関する情報を共有し、職員間での連携を活かして保護者とのコミュニケーションを丁寧に行っている。また、給食の展示への配慮や保育活動の様子を保護者に伝える工夫など、取り組みを伝える様々な配慮がなされている。保育所室内の環境整備や子どもたちの安心と安全につながる取り組みなどへの考え方や職員一人ひとりの思いも合わせて伝えていくことも検討されたい。また、保育士・看護師・調理師の保育にかかわる工夫や配慮などを更に保護者に向けて伝え知らせ、子どもたちの様子を直に見て感じてもらう保育参加などの取り組みを更に推進して理解と協力、支援などに活かされたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受け、現状の把握や今後の課題が明確になりました。  
 自然環境と地域資源に恵まれていることを再認識しこれからの保育の励みとなり、より一層活かしていきたいと思えます。また、安心・安全な取り組みでは、職員間だけではなく、保護者にも周知し共通理解につなげることが課題となりました。  
 今後も子どもたちが安心して楽しく過ごすことができるよう職員同士で話し合い、取り組んでいきたいと思えます。  
 ご多用中にもかかわらず、アンケート調査にご協力いただいた保護者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり